

Economic Indicators

定例経済指標レポート

テーマ：住宅着工戸数（2007年4月）

発表日：2007年5月31日（木）

～分譲が堅調、持家は低迷～

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 副主任エコノミスト 長谷山則昭

TEL: 03-5221-4525

（単位：%）

		新設住宅着工戸数								新設住宅 着工床面積
		着工戸数 (季年率)		持家 着工戸数 (季年率)		貸家 着工戸数 (季年率)		分譲 着工戸数 (季年率)		
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
06	1-3月期	127.7	4.9	35.5	▲ 0.9	55.0	13.0	37.0	1.4	0.2
	4-6月期	130.2	8.6	36.1	3.1	54.2	10.6	39.8	11.1	5.

分譲は前年比▲0.9%と前年からはマイナスとなったものの、前年同月が高水準だったことを考えれば良好である。前月に大型着工が重なったとみられる近畿圏は反動で減少したが、その他地域を中心に着工は高水準となっており分譲着工は堅調と言えるだろう。ただし、このところ近畿圏を中心に契約率が鈍ってきていることには注意が必要である。在庫水準も過去の調整局面と比較すればまだ高いわけではないがマンション価格の上昇などによって売れ行きが鈍って先行き在庫が積み上がるリスクも考えられる。都心部では引き合いは強いものの郊外では売れ残り物件が出てきている模様であり、需要および在庫状況は引き続き注視していく必要があると思われる。

